

令和3年4月21日
 経済部農林水産課
 0438-23-8445

千葉県初！「オーガニックレストラン認証」取得

本市の特産品であるブルーベリーをはじめとする「オーガニックブランド」の創出について

国際的・全国的に拡大する「新型コロナウイルス感染症」の影響により、経済活動が大きく制限される中、農産物については、外食産業を中心とした需要の減少や価格低迷、飲食店においては、臨時休業や時短営業を余儀なくされています。

こうした中、本市では国の「地方創生臨時交付金」を活用し、木更津産農産物や加工品、そして、市内飲食店におけるオーガニックブランドを創出し、「食」や「健康」をテーマとした「オーガニックなまちづくり」の深化と市内農産物等の付加価値向上や地産地消の推進を図るため、有機JAS認証等の取得を支援しましたので、その成果をお知らせします。

記

1 取得した認証（日本農林規格）

(1) 有機農産物（※転換期間中を含む）

- ① ブルーベリー（木更津市観光ブルーベリー園協議会 会長 江澤 貞雄氏）※グループ認証
- ② レンコン（株式会社G.B.L.FARM 代表取締役 伊藤 恵一氏）
- ③ パッションフルーツ（JBK Farm 地曳 昭裕氏）

※上記のほか、本市の基幹作物である水稻で2名申請しましたが、過去の生産行程管理の中で、資材証明書が取得不能な資材を使用していたため、認証機関による評価ができず、有機的管理開始日の判定のみとなりましたが、今期の収穫から転換期間中有機として、認証の取得が見込まれています。

(2) 有機料理を提供する飲食店等の管理方法（通称：オーガニックレストランJAS）（有機JASマーク）

- ① BOEUF ROUGE（株式会社ごはんクリエイト 代表取締役 野口 利一氏）
- ② ごくりっ（株式会社ごはんクリエイト 代表取締役 野口 利一氏）



（オーガニックレストランJASマーク）

2 認証団体

- (1) 有機農産物：一般社団法人日本農林規格認証アライアンス（JASCert）
- (2) オーガニックレストランJAS：有限会社リーファース

3 市内有機JAS認証ほ場（面積）※転換期間中有機を含む

- ・2019年度末：559.8アール
- ・2020年度末：1,358.2アール（前年度比242.6%）
- ・耕地面積に占める割合：有機JAS認証面積13.6ヘクタール÷耕地面積1,488ヘクタール
 $\times 100 = 0.91\%$ （平成30年度の全国平均 0.25%）



※耕地面積は2015農林業センサスの数値